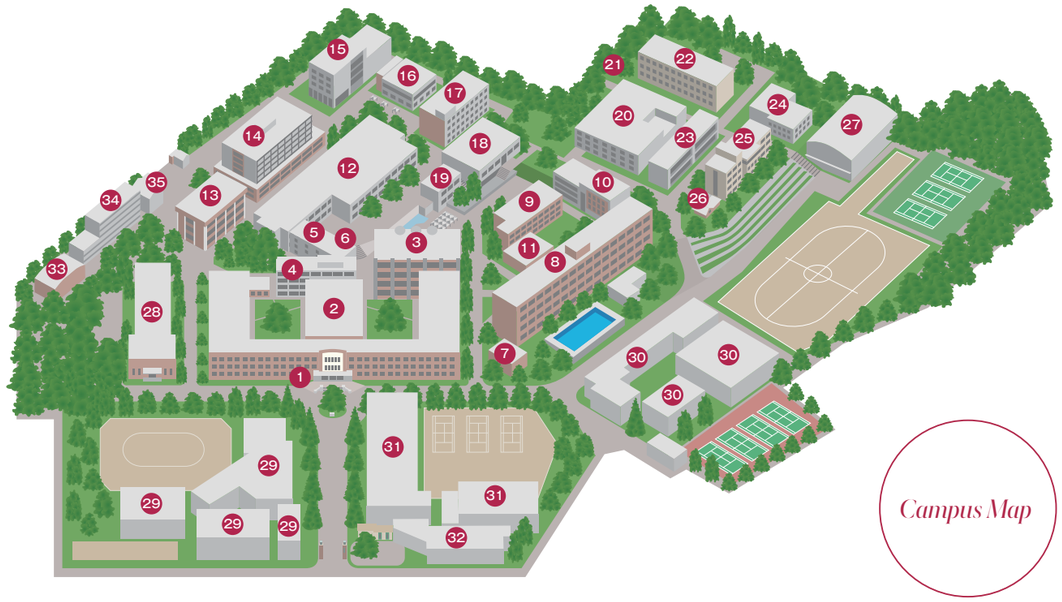
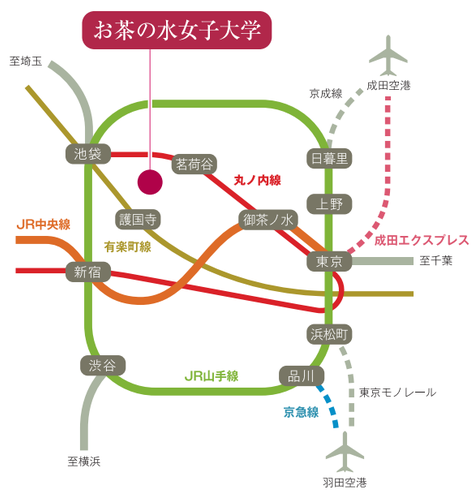


Campus Map

▶ 施設一覧

1. 大学本館
2. 大学講堂（徽音堂）
3. 総合研究棟
4. 生活科学部本館２
5. お茶大アカデミック･プロダクション研究棟
6. 屋外エレベーター棟
7. ラジオアイソトープ実験センター
8. 理学部１号館
9. 理学部２号館
10. 理学部３号館
11. 情報基盤センター
12. 附属図書館
13. 学生センター棟
14. 文教育学部１号館
15. 共通講義棟１号館
16. 共通講義棟２号館
17. 共通講義棟３号館
18. 大学食堂（NSSOL Kitchen）
19. 保健管理センター
20. お茶の水女子大学音羽館
21. 弓道場
22. 文教育学部２号館
23. Student Commons
24. 課外活動団体談話室
25. 人間文化創成科学研究科･全学共用研究棟
26. 茶室（芳香庵）
27. 大学体育館
28. 附属幼稚園
29. 附属小学校
30. 附属中学校
31. 附属高等学校
32. 国際交流留学生プラザ
33. いずみナーサリー
34. 大塚宿舎
35. こども園

Access Map



東京駅 ― 東京メトロ丸ノ内線【約10分】 ― 茗荷谷駅

品川駅 ― JR山手線【約7分】 ― 東京駅 ― 東京メトロ丸ノ内線【約10分】 ― 茗荷谷駅

羽田空港 ― 東京モノレール【約30分】 ― 浜松町駅 ― JR山手線【約7分】 ― 東京駅 ― 東京メトロ丸ノ内線【約10分】 ― 茗荷谷駅

池袋駅 ― 東京メトロ丸ノ内線【約5分】 ― 茗荷谷駅

池袋駅 ― 東京メトロ有楽町線【約5分】 ― 護国寺駅

新宿駅 ― JR山手線【約10分】 ― 池袋駅 ― 東京メトロ丸ノ内線【約5分】 ― 茗荷谷駅

新宿駅 ― JR山手線【約10分】 ― 池袋駅 ― 東京メトロ有楽町線【約5分】 ― 護国寺駅

▶茗荷谷駅（東京メトロ丸ノ内線）より徒歩７分
▶護国寺駅（東京メトロ有楽町線）５番口より徒歩８分

国立大学法人
お茶の水女子大学
大学院　人間文化創成科学研究科
Graduate School of Humanities and Sciences, Ochanomizu University

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1
2-1-1 Otsuka, Bunkyo-ku,
Tokyo, Japan 112-8610
E-mail:info@cc.ocha.ac.jp
URL:https://www.ocha.ac.jp

発行：2025年４月

GRADUATE SCHOOL OF
HUMANITIES AND SCIENCES,
OCHANOMIZU UNIVERSITY

お茶の水女子大学大学院

人間文化創成科学研究科

大学院案内2026

GRADUATE SCHOOL OF
HUMANITIES AND SCIENCES,
OCHANOMIZU UNIVERSITY

大学院案内2026
CONTENTS

01　CONTENTS
02　学長メッセージ・研究科長メッセージ
03　お茶の水女子大学が目指す人材育成
04　人間文化創成科学研究科組織図
05　比較社会文化学専攻
07　人間発達科学専攻
08　ジェンダー社会科学専攻／ジェンダー学際研究専攻
09　ライフサイエンス専攻
10　理学専攻
11　共創工学専攻（仮称）／生活工学共同専攻
13　副専攻プログラム／キャリア副専攻
14　共通科目／長期履修学生制度／国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）採択事業
15　奨学金／小石川寮／入学料・授業料
17　国際交流
18　研究支援
19　就職支援の取組
20　主な就職先
22　大学院入試情報

Messages

2025年4月
国立大学法人
お茶の水女子大学長
佐々木 泰子

自分イノベーション – 時を超え、多元的に!

お茶の水女子大学は、1875年にわが国初の女性のための官立の高等教育機関「東京女子師範学校」として東京・御茶ノ水の地に誕生して以来、150年にわたる女子教育の歴史を刻んできました。優れた教育者を育てることを目的とした「女子高等師範学校」、「東京女子高等師範学校」の時代を経て、1949年に新制の総合大学である「お茶の水女子大学」となりました。2004年に国立大学法人お茶の水女子大学となり『学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する』との理念の下、本学で学ぶ全ての女性たちが、多様な文化と異なる価値観や考え方を持つ人々と深く理解しあい、信頼しあって、互いに切磋琢磨しながら、自らを成長させて行くことを願い、学びたくても学ぶことのできない開発途上国の女性たちをも含めて、国境を越えた女子教育の推進に努めてきました。

1963年には大学院修士課程が、1976年には博士課程が設置され、それ以来、高度な研究・教育を担う国立女子大学としての歩みを続けています。大学院では、様々な領域における専門性を深めることは勿論ですが、同時に、分野横断的な視点に立って時代をリードし、また、豊かな感性をもって世界の未来を創出する女性たちの育成に取り組んでいます。加えて、女性のライフコースを視野に入れ、少人数教育によって学生の皆さん一人ひとりの能力を伸ばし、本学の使命である女性リーダーの誕生を支援しています。たとえば、前期課程での高い専門性を活かすための就業力育成を目的としたキャリア副専攻、後期課程での企業関係者と自由に情報交換できる場の提供、また後期課程修了後の研究員制度など、学生の皆さんの多様なキャリアパスの充実を図り、自己主体感をもって社会で活躍することを目指したサポート体制の拡充を推進しています。

本学大学院で、真摯に学びの道を極めようと努力する皆さんには、2年間あるいは5年間の学びと自己研鑽を経て、人生の目標に向けて力強く羽ばたいて下さることを願っています。今や「人生100年」でライフシフトが問われる時代 —皆さんがお茶の水女子大学の伝統に根ざした確固たる教育基盤を踏みしめ、自らの変革をとおして新たな社会的価値を創造し、世界中の人々の幸せに資する活躍をして下さることを、心から期待しています。

2025年4月
お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科長
安成 英樹

大学院で学ぶということ

この世界、自然界、そして人間の織りなす社会は未だ解明されていない不思議や謎、あるいは不可解な事象に満ちあふれています。そして大学院を志しているみなさんは、文理にかかわらず自ら思い定めた問いの究明に向かって学問的に挑もうとしていることでしょう。

お茶の水女子大学はそうした真摯な探究心と知的好奇心に応え、後押しする教育体制をとっています。大学院の組織としては研究科ひとつという構成ですが、そのもとにさまざまな分野を包括する専攻が博士前期課程、後期課程ともに6つ設けられ、多士済々の個性豊かな研究者がみなさんを迎え入れ、嚮導してくれます。

大学院という世界は自らの研究課題を深く鋭く考究していくところです。どんどん学びを進めていってください。ただ、研究が進めば進むほど必然的に専門性は増していきます。その際ぜひ留意してほしいことは、研究を深めることと同時に時には立ち止まって周囲を見渡す、すなわち自らの研究を俯瞰し客観化する視角を併せ持ってほしいということです。なぜこのテーマを研究するのか、それはどんな意義をもつのか、を絶えず自問することはとても重要です。高い頂きをもつ山ほど裾野が広いというのは真理なのです。もうひとつ、大学院時代というのは驚くほど早く時間が過ぎ去っていきます。しっかりと研究計画を立て、着実に歩を進めていってください。

お茶の水女子大学が目指す人材育成

お茶の水女子大学は世界に通用する俯瞰的視野と独創力に満ちた真の女性リーダー創出を目指す最高水準の研究拠点として、長い歴史の中で培ってきた実績をもとにグローバルに活躍する女性人材を育成します。女性のライフコースを重視しながら、少人数教育の利点を生かし、個々の学生の能力を伸ばし、女性リーダーの誕生を支援します。

学生の多様なキャリアパスを充実させるために、前期課程での高い専門性を活かすための就業力育成を目的としたキャリア副専攻（公務員/産学連携/消費者科学）、後期課程での企業関係者と自由に情報交換できる場の提供（ワークインプログレス）、また後期課程修了後の研究員制度（リサーチフェロー、研究院研究員、みがかずば研究員）など、社会で活躍することを目指したサポート体制が充実しています。

お茶の水女子大学大学院の特色

1 複数指導制

博士後期課程から複数指導制を取り、多様な研究視点の導入を可能にします。

2 学際性・国際性

領域横断的思考を育て、グローバル化する社会に柔軟に対応できる能力を育てます。

3 キャリアパス

ライフコースに配慮しながら、キャリアパスを提案します。

4 長期履修制度によるサポート

介護、子育て、または就業等、大学院へ通うための十分な時間を確保できない学生向けに、履修期間を延長することで学位取得をサポートします。

5 後期課程からの入学も支援

後期課程からの入学も奨励し、各自の専門性に合わせた指導をします。

M1 〉 M2 〉 D1 〉 D2 〉 D3 〉 PD

研究指導の充実

研究の基礎構築 → 修士論文

卓越した専門性
学際研究の展開
複数指導制 → 博士論文

キャリアパスの充実

- キャリア副専攻
  公務員・産学連携・消費者科学
  P13参照
- ワークインプログレス
  博士後期課程・PD（ポスドク）対象
  P19参照
- 独自の研究員制度
  RF・研究院研究員・みがかずば研究員
  P19参照

女性のライフコース支援

- 大学独自の奨学金制度 P15,16参照
- 学生寮「小石川寮」 P16参照
- 大学院で働きながら学ぶ制度「ティーチング・アシスタント制度、リサーチ・アシスタント制度」 P19参照
- 学内保育所「いずみナーサリー」 P18参照
- 研究インターンシップ P19参照

人間文化創成科学研究科組織図

博士前期課程

専攻名	比較社会文化学専攻	人間発達科学専攻	ジェンダー社会科学専攻	ライフサイエンス専攻	理学専攻	生活工学共同専攻 ※2	共創工学専攻（仮称） ※1
入学定員 ※3	58 名	27 名	18 名	39 名	70 名	募集しません	10 名
コース名	日本語日本文学コース アジア言語文化学コース 英語圏・仏語圏言語文化学コース 日本語教育コース 思想文化学コース 歴史文化学コース 生活文化学コース 舞踊・表現行動学コース 音楽表現学コース	教育科学コース 心理学コース 発達臨床心理学コース 応用社会学コース 保育・児童学コース		生命科学コース 食品栄養科学コース 遺伝カウンセリングコース	数学コース 物理科学コース 化学・生物化学コース 情報科学コース		

※1 2026（令和8）年4月開設に向けて、共創工学専攻（仮称）の設置を構想中。
※2 生活工学共同専攻（博士前期課程）は、2025（令和7）年10月入学から学生募集停止。（博士後期課程の募集は継続します。）
※3 既存専攻の入学定員の変動については、確定次第、入試Webサイトにてお知らせします。
設置構想は予定であり、変更が生じる可能性があります。

領域横断的な進学も可能です

博士後期課程

専攻名	比較社会文化学専攻	人間発達科学専攻	ジェンダー学際研究専攻	ライフサイエンス専攻	理学専攻	生活工学共同専攻
入学定員	27 名	14 名	4 名	13 名	13 名	2 名
領域名	国際日本学領域 言語文化論領域 比較社会論領域 表象芸術論領域	教育科学領域 心理学領域 発達臨床心理学領域 社会学・社会政策領域 保育・児童学領域	ジェンダー論領域	生命科学領域 食品栄養科学領域 遺伝カウンセリング領域	数学領域 物理科学領域 化学・生物化学領域 情報科学領域	

◎各専攻・研究室・教員構成の詳細は
https://www.dc.ocha.ac.jp/

◎研究者情報
https://researchers2.ao.ocha.ac.jp/

◎ 年度別博士前期課程学位授与者数（過去5年間）　（名）

学位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
修士（人文科学）	76	57	60	59	54
修士（社会科学）	30	39	32	30	20
修士（理学）	93	73	89	101	93
修士（生活科学）	21	20	30	24	20
修士（学術）	8	7	6	6	7
修士（生活工学）	7	2	6	5	1
修士（工学）	6	15	7	8	7
計	241	213	230	233	202

◎ 年度別博士後期課程学位授与者数（過去5年間）　（名）

学位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
博士（人文科学）	12	19	5	9	9
博士（社会科学）	19	6	5	3	14
博士（理学）	14	2	12	9	5
博士（生活科学）	3	5	0	0	1
博士（学術）	10	5	4	0	6
博士（生活工学）	1	0	0	0	0
博士（工学）	1	2	6	0	1
計	60	39	32	21	36

※論文博士を含む

Comparative Studies of Societies and Cultures

比較社会文化学専攻

https://www.dc.ocha.ac.jp/m/c-cultures/index.html

前期課程	日本語日本文学コース	アジア言語文化学コース	英語圏・仏語圏言語文化学コース	日本語教育コース	思想文化学コース	歴史文化学コース	生活文化学コース	舞踊・表現行動学コース	音楽表現学コース
後期課程	国際日本学領域		言語文化論領域		比較社会論領域		表象芸術論領域		

特色

研究対象は、社会、文化、言語、芸術など多方面にわたっています。また、日本を中心とする領域もあれば、世界のさまざまな国や地域を対象とする分野もあり、人類の長い過去の学問の蓄積を重視するとともに、現代の文化や社会の変化にも目を向けています。こうして、学術研究において指導的役割を果たす研究者を育成するとともに、社会において高度な専門的知識・技能を発揮できる人材の養成を目的としています。
前期課程はきめ細かく学生の学問的関心にこたえるために、専門分野を少し細かく区切ります。後期課程はより大きな括りで再編して4つの領域としています。専門的知識のさらなる深化をはかるとともに、領域横断的な創造的能力を涵養するためです。

《博士前期課程》

■日本語日本文学コース

日本語日本文学コースは、古典文学・近現代文学・日本語学の三分野から構成されています。それぞれが連関しながら、研究に必要な学識と方法が広く深く学べるようカリキュラムが組まれています。

学位論文題目例

『枕草子』の「雪」表現の研究―和漢文芸の受容と創造―、『正治二年院初度百首』に向けられた慈円の意図―歌枕への考察を通して―、芝全交作黄表紙の手法、泉鏡花「外科室」論―画師の語る〈真の美〉―、揺らぐ芸術家の〈眼〉―中期太宰治作品における自己定位の問題と変遷―、キリシタン資料の二重子音表記に関する研究、「朝ドラ」における夫婦間の呼称―関係性の変化に着目して―

■アジア言語文化学コース

中国語学・文学研究の基礎を築きます。古典から近現代文学、言語学と指導体制は整っています。在学中、中国や台湾の協定校に留学する学生が多く、卒業後は、本学及び他大学の博士後期課程へ進学、あるいは企業等に就職します。

学位論文題目例

岑参詩の送別歌行について―その語りから導かれるもの、中国語における疑問詞の非疑問用法について、厳歌苓小説における研究―フェミニズム物語論の視点より

■英語圏・仏語圏言語文化学コース

英語圏と仏語圏の専修に分かれますが、必要に応じ、各言語圏の交流や比較対照の視点も採り入れて研究を行います。研究分野は文学系と語学系に大別され、各言語の文学・文化及び言語を研究対象とします。

学位論文題目例

Toward the Ambiguities:Herman Melville's Experiments of Writing a Romance in *Pierre; or The Ambiguities* (1852), The Semantics of *Just*: Through a Comparison with Japanese *Tada and Dake*, Japanese L1 Cognate Knowledge Use in English Lexical Inferencing, フランス・アルザス地方の言語とアイデンティティー地域語の継承と教育に着目して―、バルザックの『二人の若妻の手記』に描かれる19世紀フランス女性の社会的地位と結婚

■日本語教育コース

多様な言語、文化的背景を持つ学習者を理解し、彼らのコミュニケーション能力を向上させるための基盤となる理論や方法、専門性と実践力をもったグローバル社会の日本語教育専門家を育成します。

学位論文題目例

中国人日本語学習者におけるオノマトペの意味推測―推測の正確さと手がかりの使用に着目して―、日本在住の中国人JSL生徒の漢語習得状況について―日本語漢語知識と中国語漢語知識の関係から、中国人日本語学習者の日中同形語処理:学習環境と語彙使用頻度に注目して、フランスのオンライン継承日本語クラスにおけるランゲージングの様相―プロセスと言語レパートリーの認識・活用に着目して―

■思想文化学コース

物事の成り立ちを支える原理や、それについて私たちが抱いている理解を明らかにし、議論の俎上に載せます。現在論じられている問題を、一つ一つ論拠を確かめながら自ら考えたり、過去に書かれた古典の精読を手掛かりに考えたりする訓練を行います。古典の読解では主に西洋の近世から近代の哲学、古代から現代の倫理学、宗教思想、日本の現代思想のテクストを原典で丁寧に読むことで視野の広い思考力を養います。

学位論文題目例

フレーゲ的観点による言語の意味について、病の規範性と治療要請、波多野精一『時と永遠』に見られる宗教観および倫理観、ショーペンハウアーにおける意志の否定について―『意志と表象としての世界』に基づいて―

■歴史文化学コース

日本史・アジア史・西洋史を柱とする歴史学と、西洋と日本の美術史学によって構成されています。文字資料分析に、造形資料、視覚資料などの幅広い分析を加えて総合した多角的な研究を目指します。研究職を目指す人とともに、社会の場で習得した能力や知見を発揮したいという人を歓迎します。

学位論文題目例

摂関期の源氏に対する一考察、興福寺の延年に関する一考察、江戸幕府における書物方組織と文書管理、1900年パリ万国博覧会における日仏関係、清朝乾隆期の捐納出身重要職官と賀世盛、十九世紀カイロの都市開発、『失楽園』に見る天使のイメージ、中世盛期イングランドの年市におけるケルン商人、19世紀後半フランスにおける「芸術」と「科学」

■生活文化学コース

生活文化の諸事象を対象とし、多様な視座のもとで新しい学際研究を試みるコースです。日本・西洋の服飾の歴史や現代モードなどを明らかにする服飾文化研究、工芸を中心とした生活文化を比較文化論の立場から論じる研究、代々受け継がれてきた生活文化を民俗学・文化人類学の立場から論じる研究が中心です。生活文化論を人間理解の途として日本の内外に発信する意欲のある学生を求めます。

学位論文題目例

1890年代から1900年代のアメリカにおける家庭内でのレース作り―サラ・ハドリーによるモダン・レースの普及と理想の母親像―、既製服とそのサイズ規格の普及による消費者の購買行動・購買意識の変容、観光資源としてのアニメ聖地の有用性―埼玉県川越市「神様はじめました」を題材に、文化の大衆化に関する一考察:明治時代から昭和初期の茶の湯と三越呉服店の関係を事例として

■舞踊・表現行動学コース

舞踊・スポーツなどの身体表現運動について、芸術学、民族学、教育学、身体運動科学などの分野から学際的に教育・研究を行います。特に舞踊教育、舞踊芸術、民族舞踊、動作学、スポーツマネージメントといった研究領域が中心です。舞踊やスポーツの実践をふまえ、理論的、科学的知見を十分に修得した専門的人材の育成を目指します。本コースを志望するものは、修士論文作成のために十分な外国語の能力と専門知識が必要です。

学位論文題目例

中学生のダンスに対するジェンダー・イメージ、ルーマニアのハンガリー民族居住地における民俗舞踊の伝承―カロタセグ地方の民俗舞踊活動を事例として―、コンテンポラリーダンスにみられるスイング動作の運動特性―印象評価との関連から―、舞踊創作とドラマトゥルク―ヴッパタール舞踊団（1980-1989）におけるライムント・ホーゲに着目して―

■音楽表現学コース

音楽学と演奏学の二つの専攻からなり、後者はピアノまたは声楽を専門とします。修士論文は西洋音楽や民族音楽の枠を越えた新しい知見を切り拓くことを目指し、演奏の専門性も高いレベルを要求しています。また、両専攻とも英語の専門文献を読解するだけの語学力を必要としています。

学位論文題目例

ヨハネス・ブラームス《8つのピアノ小品》作品76より第7番「間奏曲」の分析、河竹黙阿弥作品における音楽演出と伝承の関連性―『鼠小紋東君新形』の分析を中心に―

《博士後期課程》

■国際日本学領域

日本に関するそれぞれの専門分野において高度な研究を進めるとともに、関心を学際的に広げ、総合学としての日本学を国際的視野のなかで研究し、世界に発信する人材の養成を目指しています。

学位論文題目例

言語少数派の子どもの生活体験を基盤とする概念発達の様相、寺山修司の演劇媒体を通した制度解体、日本の対中経済進出と居留地経営政策

■言語文化論領域

アジア、欧米を中心とする各国文学・言語学・言語教育学について高度な研究を行います。また領域横断的な研究視点を採り入れ、文学・文化の研究における新たな知見を国際的に発信する能力を養います。

学位論文題目例

文学史上における阮籍「詠懐詩」の位置、"半山"作家林海音の主婦像、郁達夫小説に見られる西洋への憧憬、Henry James on Ethical Questions in the Process of Globalization、Person in Partial Control、近代フランスの食文化とガストロノミーをめぐる考察―『美食のフランス』（1921-1927）を中心に―、ブリヤ=サヴァラン『味覚の生理学』とイデオローグの知の革命―新たな人類学としてのガストロノミー―

■比較社会論領域

哲学思想・歴史からスポーツまでを対象に、世界の諸地域を比較横断する研究・教育を推進し、過去の思想・歴史を踏まえつつ、現代社会が要請する新しい人文科学の創成に寄与する人材の育成に努めます。

学位論文題目例

16世紀前半スペインの対イングランド外交交渉―ウスタシュ・シャピュイ大使を中心に―

■表象芸術論領域

美術・工芸・服飾・舞踊・音楽を主な対象とし、文化表象・表現を多方面から専門的かつ横断的に分析・追究する領域です。人間理解や国際協力の媒介として表象芸術論を展開する学生を求めています。

学位論文題目例

日本音楽の海外公演における「仲介者」（Vermittler）の役割―ドイツ語圏でのハインツ=ディータ・レーゼHeinz-Dieter Reeseの実践―

Human Developmental Sciences

人間発達科学専攻

https://www.dc.ocha.ac.jp/m/human/index.html

前期課程	教育科学コース	心理学コース	発達臨床心理学コース	応用社会学コース	保育・児童学コース
後期課程	教育科学領域	心理学領域	発達臨床心理学領域	社会学・社会政策領域	保育・児童学領域

特色

社会的かつ個人的存在としての人間と、その発達過程を対象として、多様なコース／領域を設け、学際的、応用的にアプローチし、高度な女性研究者、職業人を育成します。博士前期課程から博士後期課程まで一貫した教育指導を保持し、特に後期課程ではステージ制により、博士号取得に向けた系統的な教育を行っています。

■教育科学コース/領域

教育思想、教育史、教育社会学、教育開発論、教育方法・課程論、教育心理学、特別支援教育等、教育学の諸領域を研究することができます。進学はもちろん教員志望や社会人学び直し等、多様な研究機会を提供しています。

学位論文題目例

【博士前期課程】
難関大学からベンチャー企業への就職に関する教育社会学的研究、管理教育の影響－1970年代から1990年代までの千葉県を例に、谷昌恒校長時代の北海道家庭学校における教育実践、どのように志望大学を決めることが高校生の学習のウェルビーイングにつながるか－自己決定理論と期待－価値理論に着目して
【博士後期課程】
大衆化する英国の大学における教育の国際化－イングランドの「1992年以降の大学」に着目して、日本占領下の蒙疆地域における軍隊とモンゴル人の教育

■心理学コース/領域

認知・発達・社会・教育・臨床心理学を専門とする教員の指導を受けながら、心理学の先端的研究を学び、高度で広範囲な研究方法論や知識を獲得することができます。人間の心理メカニズムを、発達という時間軸、社会という空間軸の中で、多次元的・総合的に検討し理解する人材を育成します。

学位論文題目例

【博士前期課程】
擬似的空間無視に及ぼす把持可能性の影響、ネットショッピング利用の規定因および精神的健康との関連性
【博士後期課程】
青年期女子におけるfat talk生起の背景要因に関する実証的研究、人生における経験の捉え方：自伝的記憶・将来の想像・ライフスクリプトの関係の検討、児童・思春期の抑うつ傾向の遺伝と環境 ―心理社会的要因との関連を巡って―

■発達臨床心理学コース/領域

教員は、病院、学校、司法、産業などの領域において心理臨床と研究に携わってきた研究者・実践家であり、科学的視点と臨床的視点を組み合わせた訓練を受けることが可能です。前期課程は、臨床心理士資格認定協会の第1種指定校であり、公認心理師受験資格にも対応しています。後期課程の学生は、実践指向的な研究に取り組み、心理臨床実践と研究を両立し、科学者・実践家としてのコンピテンシーを獲得します。

学位論文題目例

【博士前期課程】
自閉症スペクトラム障害と性別違和はどのように併存しているのか ―当事者たちの「自分史」に注目して―、子どもの攻撃にまつわる初心者セラピストの体験プロセス、発達障害児の母親の養育を通した内的な変化―エンパワメントの視点から―
【博士後期課程】
文学教材を通した感情体験の探究―小中学生用文学読書体験尺度の作成と仮説モデルの生成―、「母親になる」体験をとおした女性心理臨床家の職業的発達 ―妊娠、出産、子育ての体験と臨床活動の交差―

■応用社会学コース/社会学・社会政策領域

現代社会の諸問題（コミュニケーション、メディア、ジェンダー、地域、家族、福祉、医療など）について、社会学を中心に社会科学の理論と方法によって解明し、実践的解決策の提案へ繋ぎます。専門社会調査士資格を取得する学生も少なくありません。

学位論文題目例

【博士前期課程】
日中関係をめぐる世論調査の変遷と特徴についての比較研究、在日中国人の老親扶養問題、「腐女子」の経験とジェンダーの関係性
【博士後期課程】
レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル「家族」の質的研究、高齢者介護政策の転換と家族介護への現金支払い、現代日本における男性不妊の位置づけ、Dynamic Hamming Distance によるキャリアの類型化

■保育・児童学コース/領域

発達心理学、教育学、保育学、社会学など多様な境界領域から保育・児童学を研究する教員を配置し、テーマの焦点化、研究方法論の検討プロセスを重視しながら研究室を決めていきます。社会人入学者が多いのも特徴です。

学位論文題目例

【博士前期課程】
居宅訪問型保育における省察の研究、明治期の簡易幼稚園奨励が幼稚園の普及に与えた影響、貧困家庭に対する保育所の支援、幼児教育・保育の場における「気になる」という感覚の多様性
【博士後期課程】
幼小接続期における共同的な「かく」学びに関する研究、高校家庭科におけるエシカル消費に関する教育デザイン研究、一斉授業における対話の可能性、エコロジーとデモクラシーの接点からみた持続可能性のための幼児教育、親子遊びで親が「遊び手」となること、日本のバリアフリー絵本の展開と課題

Gender and Social Sciences
Interdisciplinary Gender Studies

ジェンダー社会科学専攻

https://www.dc.ocha.ac.jp/m/gender/

前期課程	―

特色［博士前期課程：ジェンダー社会科学専攻］

ジェンダー視点を手がかりとして、既成の学問体系とその所産を反省的に見直し、女性・家族・地域・国家などにかかわる諸現象をグローバルな視野のもとで学際的に解明する分析力、生活の場で直面する具体的課題から出発してその解決に向けて提案する実践力の涵養を目指します。

●**ジェンダー研究科目群**＝ジェンダー研究の基礎から最先端までをカバーする多彩な科目群。ジェンダー論を集中的に学び、社会や文化の諸問題に対する批判的な思考力を磨くことを目指します。さらに、より高度なジェンダー研究へと進む経路ともなります。
●**専門科目群**＝地理学、地域研究、開発学、法学、政治学、経済学、社会学などの各学問分野における専門的科目群。個別ディシプリンを基礎から発展のレベルまで体系的に修得するためのカリキュラムです。
●**学際方法論科目群**＝視野を広げ、方法論を磨く科目群。分野の異なる複数教員による学際共同演習や調査法（量的、質的、フィールドワーク等）に関するコースワークなどを提供します。研究を進める前提として、広角の視野と厳密な方法を身につけてもらうことが目的です。

この3つの科目群から、各自のテーマ等に応じて様々なパターンで科目選択ができます。また、国内外のジェンダー研究の拠点や海外協定校、UNDPなど国際機関とも連携して多彩なカリキュラムを提供します。本学出身者はもちろん、多くの留学生・他大学出身者・社会人院生が切磋琢磨して学んでいる専攻です。

カリキュラムの構成

	ジェンダー研究（問題）	専門科目（体系）	学際方法論（方法）
選択	セクシュアリティ論 社会保障とジェンダー ジェンダー統計論演習など	各学問分野を体系的に修得するための専門科目群	ジェンダー学際共同演習Ⅰ～Ⅳ
選択必修	ジェンダー立法過程論 ガバナンスとジェンダー		研究方法論コースワーク（量的、質的、フィールドワークから選択）
必修	ジェンダー基礎論		ジェンダー社会科学論
	特別研究（修士論文）		

学位論文題目例

授乳する身体からみる家庭内公／私空間の構築―中国大都市圏を事例に―、現代日本における中国人への排外主義―保守論壇誌における中国人表象の分析から―、中国における地方国家公務員人事のジェンダー・ポリティクス―内モンゴル自治区における公務員の採用と昇進を事例に―、手料理に関する母親規範意識―未就学児を持つ正規雇用の母親の質的研究、配偶者暴力相談支援センターの相談機能に関する調査研究―東京都23区を例に、Twitterでジェンダー関連政策を発信する政治家が受けるネガティブな反応に関する分析―選択的夫婦別姓への賛成を例に、地方出身の新規大卒就職者のUターン志向と「家」意識の考察―栃木県を事例として、日本のお笑い界における性差別の再生産メカニズム―バラエティー番組のコンテンツ分析と若手芸人へのインタビューから見えてきたもの

ジェンダー学際研究専攻

https://www.dc.ocha.ac.jp/d/gender/

後期課程	ジェンダー論領域

特色［博士後期課程：ジェンダー学際研究専攻］

ジェンダー研究教育の拠点形成として2005年4月に設立されました。博士後期課程において学際研究の視点からジェンダー研究の確立・重点化をはかる日本で初めての専攻です。専攻の教員は、それぞれの学問領域を土台に現代の社会的課題を分析する授業内容を提供しています。これまでの修了生の博士論文はジェンダー視点から既存の学問分野に新たな視野を提示した事が評価され、ジェンダー法学会賞、女性史学賞、人文地理学会学会賞、経済地理学会賞、山川菊栄賞、日本人口学会優秀論文賞等を受賞しています。

学位論文題目例

現代中国の高度成長とジェンダー―農嫁女問題の分析を中心に、紛争後復興期のジェンダー・クオータ―東ティモール女性のネットワーク化、共働き夫婦の育児責任のジェンダー化プロセス―保育所入所申し込み手続きに着目して、「承認のライシテ」とムスリムのための場所づくり―フランス・ストラスブールにおけるモスク・墓地・宗教間対話、冷戦後安全保障の再構築と国際ジェンダー平等規範―女性・平和・安全保障アジェンダの形成と日本による受容、女性の就業と出産―出産後のキャリアに着目した実証分析、住宅弱者の生活再建における可視化しづらい困難―DV被害者とホームレス経験者の事例から、男性性と有配偶者の家事・育児遂行―ケアする男性性に着目して、核家族世帯における子どもの家事遂行―親の家事遂行と親子のコミュニケーションに着目して、子どもを持つ意欲と実現：ドイツの大規模パネルデータ分析から、精神障害者の「地域移行」における生の技法とケアの場所、「なんとかやる」ことで創られる日常―現代アルジェリア女性の有償家内労働にみる実践的戦術、ケイパビリティ・アプローチ実践のための一試論―未婚女性非正規雇用者の生活の質の検討を例に、求職者支援訓練のジェンダー分析:受講者のエンパワーメントの視点から

Life Sciences

ライフサイエンス専攻

https://www.dc.ocha.ac.jp/m/life/index.html

前期課程	生命科学コース	食品栄養科学コース	遺伝カウンセリングコース
後期課程	生命科学領域	食品栄養科学領域	遺伝カウンセリング領域

特色

英語のLifeは、生命だけでなく生活や人生をも含む言葉です。ライフサイエンス専攻では、この広義のLifeを教育します。生命の基本的な仕組みを探求する科学、それを現実の生活に役立てる科学、両者を分離せずに両輪として研究します。本専攻には次の各コース／領域の他に、副専攻プログラムとしてコア・サイエンス・ティーチャーがあります。

■生命科学コース/領域

変動する環境の中で生きる生物の真の姿を理解するために、生物の普遍性と多様性の両面を対象として、遺伝子・ゲノム・生体分子・細胞・個体・集団・生態系といったさまざまなレベルで基礎研究を行っています。前期課程では、大学院授業の受講と研究に携わることで、生命科学を含む幅広い分野での研究・開発の推進者として社会で活躍できる力を養います。後期課程では自ら研究を構築し、生命科学の創造者として活躍できる力を身に付けます。

学位論文題目例

【博士前期課程】

嗅覚受容体Or85cの種特異的な嗅覚行動への効果、イトマキヒトデ未受精卵アポトーシスにおけるCaspase-3/9活性化機構の解明、植物の細胞内膜交通を制御するRABH1 GTPaseの機能解析、海中林保全手法の開発 -地域内ゲノミック選抜の有効性検証-、基準振動解析を用いたPiezoタンパク質の構造変化解析

【博士後期課程】

Study on a novel trans-Golgi/TGN-localized protein family in Arabidopsis thaliana、Computational study on human hearing impairment related proteins : The relationship among their mutations, network and phenotypes

■食品栄養科学コース/領域

食物を美味しく食べる方法や、生活習慣病の予防、食の安全性などの問題を解析、解決することを目指し、食物や栄養に関する基礎的研究から応用開発や臨床対応までできる食物と栄養のスペシャリストを育て、大学教員や食品企業の研究者や開発者、管理栄養士のリーダーを育成することを目的としています。食品の機能、嗜好性、安全性、健康や疾病と食品の関連などについて有機化学、生化学、分子・細胞生物学、疫学、統計学などの手法を駆使し、教育・研究を行っています。

学位論文題目例

【博士前期課程】

納豆製造時におけるピラジン類生成と納豆菌のスレオニン代謝の関連について、慢性心不全時の心臓のエネルギー代謝変化とその応用性の検討、管理栄養士養成課程における給食施設の災害対策をテーマとした総合演習プログラムの教育効果

【博士後期課程】

食品安全に対する消費者の認識及び食行動に影響を与える要因の検討、サトウキビ搾汁液中の諸成分に関する研究

■遺伝カウンセリングコース/領域

遺伝カウンセリングは、疾患の遺伝学的関与について、その医学的影響、心理学的影響、及び家族への影響を、人々が理解し適応していくことを助けるプロセスです。情報提供と心理支援の両者から構成され、疾患の発生及び再発率の評価のための家族歴及び病歴の解析、遺伝医学や福祉に関する教育、来談者が十分な情報を得て理解した上での自律的選択や来談者のリスクや状況への適応を促進するためのカウンセリングが含まれます。当コース／領域では、広汎な分野で活躍できる優れた遺伝カウンセラーの専門教育と、遺伝カウンセリングに関わるさまざまな分野の研究と臨床的実践を行っています。また、博士後期課程では、遺伝カウンセリングの指導者育成を行います。

学位論文題目例

【博士前期課程】

悲嘆経験者の支援における認定遺伝カウンセラーの困難克服プロセスについての研究、22q11.2欠失症候群の患者もしくはその家族に対する包括的な支援の現状と課題　遺伝カウンセラーの経験の語りから、遠隔遺伝カウンセリングの実践に関するインタビュー研究、遺伝カウンセリングのクライエント支援におけるヘルスリテラシーの意義

【博士後期課程】

医療従事者のゲノムリテラシー向上における認定遺伝カウンセラーの役割―クライエントの適応支援の協働者として―、クライエントの視点からみる遺伝カウンセリングにおける「共感」の概念について、遺伝性疾患のある人に対する長期的支援のあり方―認定遺伝カウンセラー®の役割―

Advanced Sciences

理学専攻

https://www.dc.ocha.ac.jp/m/sci/index.html

前期課程	数学コース	物理科学コース	化学・生物化学コース	情報科学コース
後期課程	数学領域	物理科学領域	化学・生物化学領域	情報科学領域

特色

数学、物理科学、化学・生物化学、情報科学の各分野とその周辺領域に関して、幅広い基礎知識と高度な専門性を有する学生を養成することを教育目標としています。研究では、理学の基礎研究を基盤としつつ、境界領域や学際領域における応用研究にも取り組んでいます。

■数学コース/領域

解析学・幾何学・代数学などの数学の専門分野における高度で体系的な知識を習得し、それをもとに自ら独創的な研究を行い、数学の発展への貢献や様々な領域において活躍出来る人材の育成を行います。

学位論文題目例

【博士前期課程】

明記性を持つ(α,β)-変換のHausdorff次元について、可算マルコフシフト上の最大化測度の存在について、時間遅れを考慮に入れたバーガーズ方程式の周期境界条件をもつ初期値境界値問題の数学解析、人間的社会流行における数理モデルの提案、過去の行動変容を考慮に入れた感染症の数理モデルに対する平衡点の安定性解析、曲面と単数の類似性について、ブロックデザインを用いた順位決定手法の評価、正則領域の層係数コホモロジーによる特徴付けについて

【博士後期課程】

Representation theory of compact quantum groups based on operator algebras and itsapplication

■物理科学コース/領域

素粒子理論、素粒子実験、宇宙物理学、数理物理学、ソフトマター物理学、表面物理学、量子情報物理学、スピントロニクス実験、更には中性子散乱を用いた強相関電子系の解析・固体物性など、物理学の様々な分野において最先端の理論的研究、および実験的研究を行うことができます。また、本学の特長である少人数環境を生かしたきめ細やかな教育・研究指導を受けることができます。

学位論文題目例

【博士前期課程】

格子ボルツマン法による液滴の動力学の研究、大統一理論における陽子崩壊抑制機構、イジング模型とボルツマンマシンとその周辺、損失がある微小共振器と2準位原子系を用いた量子相関の研究

【博士後期課程】

ベクトル型媒介粒子模型による暗黒物質探索の研究、強磁性超伝導候補物質RET2B2Cの研究、シンプルなモデルによる切り紙構造の力学特性

■化学・生物化学コース/領域

物質を構成する広範な種類の分子、生体関連分子を対象に、その構造と性質、合成と反応、機能と現象に重点を置きつつ、物質科学、材料科学、有機合成化学、複雑系科学、生命科学などの幅広い観点から教育・研究を行います。

学位論文題目例

【博士前期課程】

N-メチル-N,N'-ジアリールスクアルアミドの動的立体挙動に関する研究、LED光源を用いた共役オレフィンに対するメタルフリー・ヒドロキシペルフルオロアルキル化反応、血液凝固第XII因子のムチン型糖鎖修飾の意義

【博士後期課程】

アフガニスタン産コリアンドラム・サティバム・L.種子とカルム・カルビ・L.種子の精油の化学組成と抗酸化活性

■情報科学コース/領域

人工知能からネットワーク、ヒューマンコンピュータインタラクションやアルゴリズム、量子コンピューティングなど現代社会の基盤技術である情報科学の幅広い分野をカバーし、それぞれの分野で最先端の教育、研究を行っています。博士前期課程では、実際に未知の研究を行い、社会で活躍していく力を身につけます。また、博士後期課程では、自ら中心となって世界最先端の研究を行い、情報科学の発展に寄与していきます。

学位論文題目例

【博士前期課程】

リッチクライアント-エッジサーバ間におけるプライバシ保護に優れた分散機械学習、Burning Schedule 遷移問題に対する多項式時間アルゴリズムと FPT アルゴリズム、代数的エフェクトとハンドラのための実装理論、日本語数量表現のためのアノテーション体系と推論データセットの構築、ボクセルを用いたDNAのシミュレーション精度分析

【博士後期課程】

似顔絵制作支援のための顔パーツ生成とインタフェースの提案、日常携帯機器の電波検知履歴を利用したヒトとモノの探索支援、文の構造知識に基づく自然言語文生成、多次元時系列データにおける敵対的生成ネットワークを用いた異常検知、複数のサボニウス型回転装置周りの流れと相互作用に関する数値的研究

Transdisciplinary Engineering
Cooperative Major in Human Centered Engineering

共創工学専攻（仮称）※

https://www.ocha.ac.jp/news/d015717.html

前期課程	——

特色

本専攻には、さまざまな専門分野が集結しています。複数の分野をデータサイエンスに基づいて協働させることにより、新たな視点が発見されることが期待されます。

設置の背景と目的

社会は大きく変化し、経済発展だけでなく様々な社会の要請に応える必要があります。そのためには、多様な「知」とともに多角的な「視点」が必要とされ、ジェンダーに関わらない多様な人材養成が必要となります。モノづくり、技術の創造、イノベーションには特にこの考え方が重要ですが、工学系分野では日本でのジェンダーギャップは極めて大きく、この解消が喫緊の課題となっています。工学系での専門的立場における女性人材のニーズが高まる中、本学では2024（令和6）年度に「文化」「社会」の知を「工学」と協働させ、安全、安心、快適な社会のための技術の構築と技術を応用した文化の創造を目指す共創工学部を立ち上げました。この理念を持ちつつ高度な技術と知識、さらに実践力を併せ持ち、リーダーシップを発揮できる専門家を育成する高等教育機関として、2026（令和8）年4月に博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」を設置します。

本専攻で学べる専門分野

人間、環境、文化情報の3つのカテゴリーに大別されます。

人間：人間工学、健康科学、自然人類学、言語情報学、バイオマテリアル、生活機能材料、生活工学 など

環境：水環境工学、建築環境工学、人間環境工学、設計デザイン、地理情報学、人文地理学 など

文化情報：情報科学、文化情報工学、マルチメディア、データベース、舞踊と工学、建築史学、デザイン工学 など

カリキュラムの特徴

共創能力、専門力、実践力の3つの力を順に積み上げていくカリキュラムが組まれています。共創能力とは、工学とデータサイエンス、人文学・社会科学の専門分野を協働させ、新しい技術や文化を工学的手法によって創造することができる能力です。専門力とは、自らの専門分野において、高度な知識と技術を修得し、その分野でリーダーシップを発揮できる専門家になり得る能力です。実践力とは、社会ニーズに対応でき、かつ修得した高度な専門知を社会実装させることができる能力です。これらを学ぶための科目が、共創基礎科目群、専門科目群、専門実践科目群の3つに分類されています。共創基礎科目群では、共創能力とは何かを理解するとともに、工学分野での社会共創の基礎を学びます。専門科目群では、高度な知識・技術、共創する学術系知識を修得するために、工学系科目、工学と共創する学術系科目とその演習科目を学びます。専門実践科目群では、工学と人文学・社会科学を高度に協働させ、社会実装する実践的研究に取り組む演習科目等により、共創工学の素養を高め、主体的・協調的な学びの態度を涵養します。このカリキュラムに取り組んでもらうことにより、3つの力を高度に備えた人材を育成し、実社会で活躍できる人材をより多く輩出することを目指します。

※2026（令和8）年4月開設に向けて、共創工学専攻（仮称）の設置を構想中。設置構想は予定であり、変更が生じる可能性があります。

生活工学共同専攻※

https://www.dc.ocha.ac.jp/m/hce/index.html

後期課程	——

特色

理工系女性人材は未だ不足している状況であり、高度な理工系専門知識を有する女性人材の育成が強く求められています。特に、生活者の視点をもった女性研究者・技術者を育成し、活躍させることは、今後の日本の産業界を支える原動力となり得るといえます。生活工学共同専攻では、工学諸分野の基礎から応用まで幅広く理解した上で、人間生活における諸課題を柔軟に捉えて研究する能力を有する女性人材の育成を目指しています。本専攻では、奈良女子大学と教育研究資源を互いに有効活用し、共同で教育プログラムを運営しています。

生活工学とは

近年、社会整備が進んだ国々では、従来、焦点が当てられてこなかった子どもや女性、高齢者、障碍者などに対し、技術の目が向きつつあります。しかし、これまでの工学技術は、大量生産、産業振興、社会基盤整備などを目的としてきたものであるため、これまで工学が対象としてこなかったユーザーに対しては、必ずしも有効な手法ではありません。あらゆる人に焦点を当て、どこでも誰にでも使える技術を活用し、すべての人々が質の高い暮らしを送ることを目指す工学が「生活工学」です。生活する人の視点から技術を捉え直し、新しい価値を創造し、人と暮らしを中心としたモノづくり・コトづくりを実践します。科学技術にライフスタイルを合わせるのではなく、ライフスタイルを含めた科学技術のあり方を模索します。

求める人材

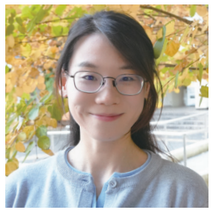
人間と生活環境に関わる現実の諸課題に強い関心があり、生活工学的観点から課題解決に取り組む意欲・能力をもつとともに、研究成果の提案・還元を通じて社会に貢献する高い志を有する人材を育成します。博士後期課程では、本専攻前期課程（現在、募集停止）修了者のみならず、他大学院関連分野の博士前期課程修了者、修士の学位（またはそれと同等以上の学力）をもつ社会人を求めます。特に社会人の積極的な受入れのために、女性のライフイベントに配慮した長期履修制度を設けています。

生活工学研究テーマ例（前期課程＋後期課程）

共有トイレにおける男女の利用心理・行動面に関する考察 - Web調査からみた男女差 - 、駅商業施設へのプレイスアタッチメント、床振動を利用した身体活動量の推定：寝室への導入に向けた標準的な材料と方法の開発、慣性センサとスマートインソールによる行動認識およびエネルギー消費量の推定、足底圧情報を用いた身体活動の分析方法、紫外線と塩素の併用による大腸菌不活化機構の検討、天然有機高分子凝集剤による微生物除去効果、小規模下水処理場での太陽光発電導入策に対するデマンドレスポンスの設計と有効性評価、界面活性剤の会合がPVAゲルの膨潤に与える影響

※生活工学共同専攻（博士前期課程）は、2025（令和7）年10月入学から学生募集停止。（博士後期課程の募集は継続します。）

在学生の声



人間文化創成科学研究科
比較社会文化学専攻　言語文化論領域　博士後期課程３年

楊 雨晨

理想の子ども像に着目し、イギリスヴィクトリア朝の児童向けファンタジー小説を研究しています。本大学院のゼミは少人数制で、活発な議論と良好な師弟関係が育つ、日向におかれた植木鉢のような場所です。英文学会を通して研究発表や意見交換の機会が豊富で、蔵書室では数多くの洋書を読み漁ることもできます。作品と理論を掛け合わせた研究のあり方に魅力を感じ、その探求の旅を楽しんでいます。

人間文化創成科学研究科
人間発達科学専攻　教育科学コース　博士前期課程１年

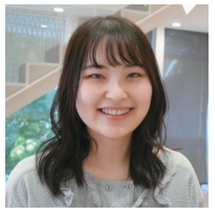
安藤 まりん

教育史の視点から、1970～90年代の教育委員準公選運動について研究しています。アカデミックトラック入試により、大学から連続してきめ細やかな指導が受けられる点に魅力を感じています。複数のゼミに所属することになるため、様々な専門を持つ先生方とお話する機会も多く、自身の専攻のみならずより広い視野で教育学を学ぶことができます。

人間文化創成科学研究科
ジェンダー社会科学専攻　博士後期課程２年

余 楽

私は、中国の出稼ぎ労働者の子どもの移動と定住に関する研究を行っています。本学で修士号を取得した後、研究を深めるため博士後期課程に進学しました。ゼミでは日本と中国の社会課題をジェンダー視点から議論し、ジェンダー研究所主催のシンポジウムや講演会で国内外の研究者と交流するなど、学際的なアプローチで視野を広げています。本学の日本語支援は充実しており、学生寮と研究室が隣接する環境の中で研究に精進する日々を送っています。



人間文化創成科学研究科
ライフサイエンス専攻　食品栄養科学領域　博士後期課程１年

西田 依小里

人の食行動に焦点を当てて、消費者と事業者の関係により生じる食品ロスを削減するための研究を行っています。研究室には、年齢やキャリアが多様な学生が在籍しており、互いに助け合いながら、日々成長を感じています。また、指導教員の先生は、指導が手厚く、どのようなことでも相談できる安心感があり、いつも数多くの学びの機会を提供してくださいます。大学院には、様々な研究支援金や奨学金、寮施設など、学業・生活面を含めた多彩な経済的支援が充実していることも魅力です。

人間文化創成科学研究科
理学専攻　数学コース　博士前期課程１年

櫻井 奏音

私の研究テーマは、流体力学の基礎方程式に対する近似解法の数学解析です。知られている近似解法を数学的に評価をし、より精度の良い近似手法を検討しています。少人数の専門的な授業が多く、先生から丁寧な指導を受けながら試行錯誤し、着実に理解を深めていくことができます。他分野の授業等も履修でき、数学の実践的な応用例を多角的な視点から捉えられるようになりました。

人間文化創成科学研究科
生活工学共同専攻　博士前期課程１年

井上 眞菜

水環境工学を専攻としており、途上国のトイレについて研究しています。実際にスリランカやベトナムにて実験するなど、海外調査や留学生との交流を通じて視野を広げる機会を得ました。また本専攻は少人数のため先生との距離が近く、活発な議論ができます。建築や化学など幅広い領域の授業を受けることができ、専門分野以外の知見も身につきます。

※学生の学年は2025年３月現在

副専攻プログラム

大学院では専門性を深めることはもちろんですが、同時に視野を広げることも重視しています。そのために、各専攻の専門教育の充実を図るだけでなく、領域横断的な副専攻プログラムを設けています。

■ 男女共同参画リソース・プログラム

男女共同参画アドバイザーや各地の男女共同参画センター及び女性センターの専門員や管理職、JICAなどの国際機関の女性に関わる案件の専門家など実務家育成を目途としています。さらに、研究者であれば、大学及び研究機関での男女共同参画やセクシュアル・ハラスメントに関する見識のある人材を、文化マネージメント専従の専門家に対しては、ジェンダー視点からのアイディアによる企画展示ができる人材を、そして企業においては、広く人事・キャリア形成のアドバイザーや男女共同参画の視点で製品・サービスの研究・開発ができる人材を育成することを目指しています。

■ 日本文化論プログラム

本学大学院では、大学院修了後に国際的な場で社会貢献を行う人材（留学生を含む）の育成を積極的に推進しています。こうした学生が日本文化と日本的思惟方法を理解することは、日本文化理解の適切な国際標準の形成に資するでしょう。さらに、グローバル化に伴う価値一元化傾向に対する批判的視点を積極的に提示し、それを通じて多様な文化の共生を促進する一助となることも期待されます。

キャリア副専攻

キャリア副専攻は、博士前期課程修了後に高い専門性を活かすための実践的な就業力を育成することを目的としたカリキュラムとなっています。現代社会は、不確実性が高く、将来の予測が困難であるため、職業生活において求められる知識は高度化・複雑化しています。こうした背景において本副専攻は、高度な専門性を備え、活躍するリーダーの多くが博士前期課程を修了（修士号を取得）しているという世界的な動向を踏まえています。

■ キャリア副専攻【公務員】

博士前期課程修了後に国家公務員などの公務員を志す大学院生を対象としています。経済、政策、法制度、英語などの実務的な知識やスキルの習得を通じて、高い専門性を実務に活かす実践力を育成することを目的としたカリキュラムとなっています。公務員として必要な理論・知識の学修を基本とし、その上で選択科目として行政に関連する領域を選択的に学びます。例えば必修選択科目「行政特論」では、憲法、民法、行政法を学ぶとともに公務員という仕事への理解を深めます。このようなキャリア副専攻【公務員】での学修を通じて、行政に携わるための幅広い実務的な知識と視点、倫理観を持ち、公の立場として社会に貢献する人材を育成することを目指しています。

■ キャリア副専攻【消費者科学】

消費生活アドバイザー資格保持者が「指定大学院」において所定の科目を履修し、修士号を取得した場合に付与される「マスター消費生活アドバイザー」資格を目指す大学院生を直接の対象としています（本キャリア副専攻は「指定大学院」指定済み）。これからの消費社会を牽引するには、生活者視点を持ち、ジェンダー平等の理念に基づく持続可能で公正な市民社会の構築を見据えた大学院修士レベルの高度な専門性が必要です。「消費社会とジェンダー論」「消費者市民社会と消費者政策」「金融教育論」などの科目によって、消費者問題に関心のある院生、消費者行政関係者、消費者教育に携わる社会人学生などにも、広く教育・研究の機会を提供します。

■ キャリア副専攻【産学連携】

博士前期課程修了後の進路として、主に企業等に就職することを考えている大学院生を対象としています。企業、研究機関等、学外ステークホルダーと連携し、科学技術イノベーションに係る人材として不可欠な知的財産、特許、ベンチャー、MTA等について学修するとともに、あらゆるキャリアの基盤となる実践的な能力を身に付けることを目的としたカリキュラムとなっています。様々なステークホルダーとの協働を通じて、女性が、研究者や技術者をはじめ科学技術イノベーションを担う人材として一層活躍できるように、産学官協創によるイノベーション・エコシステムを構築し、社会をリードしていく人材を育成することを目指します。

共通科目

博士課程には専門科目だけではなく、すべての専攻の学生向けに共通科目を設置しています。共通科目は、博士前期課程、後期課程いずれの学生も履修することができます。副専攻プログラム等、専門教育に限らない幅広い範囲の科目が設定されています。特に特色のある科目として以下のキャリア開発特論、グローバル女性リーダー特論が挙げられます。また、英語アカデミック・ライティング、英語アカデミック・プレゼンテーションといった国際的に活躍する研究者にとって必要な英語で論文を書き、発表をするための訓練を行う科目を開講しており、多くの学生が受講しています。各科目はただ講義を受けるだけではなく、自らの研究についての発表を行う等、実践的な内容となっています。

■ キャリア開発特論

「博士人材としての能力開発」を目的として、基礎編と応用編の2つの授業（各２単位）が開かれます。修士号を持って社会に飛び出す院生も対象とします。基礎編は、これまでの自分、今の自分、これからの自分について見直し、目指すべき自分の姿を明確にし、生涯にわたる生活、研究、労働のビジョンを作り、具体的なアクションプランを立てるワークショップスタイルの集中講義です。実践編は、ビジネスで活躍する方たちや博士人材として活躍しているOGなどとの交流の機会を提供し、高度な専門性を持った人材として社会における立ち位置を理解します。また英語におけるプレゼンテーション・スキル、グローバル・スタンダードとローカル・スタンダードの競合と共存など、グローバル人材としてのコミュニケーションスキル向上を目指します。

■ グローバル女性リーダー特論

社会のあらゆる分野において中核的役割を果たす女性リーダーの育成を目的とし、お茶大生に合わせたディスカッションベースの講義を行っています。基礎編と応用編（各２単位）があります。一人ひとりがリーダーシップを発揮することで組織や社会が成り立っていること、リーダーは特別な人だけがなるものではないこと、リーダーシップのあり方は多様であることを理解するとともに、グローバル人材として活躍するための心構えやグローバル社会についての理解を深めていきます。学生と講師が一体となって、「リーダーとは？」「グローバルとは？」といったテーマについて語り合い、楽しみながら講義を進めていきます。各講座のテーマは開講する年度により異なりますので、関心の高いテーマの講座から受講することが可能です。

長期履修学生制度

職業を有する等の事情により、一般の学生に比べて年間に修得できる単位数が限られ、標準修業年限で修了することが困難な学生を対象として、長期履修学生制度を導入しています。そうした事情にある学生は、博士前期課程の場合は2年間で設定されている修業年限を３年間又は４年間で履修し、博士後期課程の場合には3年間で設定されている修業年限を4年間から6年間で履修し、課程を修了することを認められることがあります。「職業を有する等」とは、有職者（正規雇用、臨時雇用〔パートタイムなど正規に近い勤務時間の者〕、自営業等）、家事、育児、介護、障碍等の事情にあることをいいます。長期履修学生として認められた場合の授業料は、「定められた授業料の年額」に「標準修業年限」を乗じて得た額を「許可された修業年限」で除して得られた額となります。

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)採択事業

■ 次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)

博士後期課程学生による挑戦的融合的な研究を支援し、優秀な博士人材が様々なキャリアで活躍できるように研究力向上や研究者能力開発を促すプログラムです。本学では採択されたことに伴い、『「革新」×「共創」で未来を拓く女性博士育成プロジェクト T-COCOA 』を実施します。採用者には「研究専念支援金」及び「研究費」が支給されます。

■ 国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業(BOOST)

緊急性の高い国家戦略分野として、次世代AI分野を設定し、同分野に資する研究開発に取り組もうとする博士後期課程学生を支援する事業です。本学では採択されたことに伴い、『「異種専門知識の融合と価値観の多様性に基づく次世代AI開発人材の育成」プログラム 』を実施します。採用者には「研究専念支援金」及び「研究費」が支給されます。

各種奨学基金・助成制度（大学院生対象）

◎本学独自の奨学金一覧
https://www.ocha.ac.jp/campuslife/scholarship/list.html

◎ 各種奨学基金・助成制度（大学院生対象）

	基金の名称	授与対象者		奨学金の額	授与枠
博士前期課程	桜蔭会研究奨励賞（予約型奨学金）	本学学部を卒業し、引き続き本学大学院博士前期課程に進学する者（学内進学者）で、学業、人物ともに優れた者		200,000円	20名
博士前期課程	小澤美奈子奨学基金（予約型奨学金）	①本学学部を３月に卒業見込みの者で、引き続き本学大学院博士前期課程ライフサイエンス専攻、理学専攻若しくは生活工学共同専攻に強く進学を志望する者 ②成績、人物とも優秀で、大学又は大学院において修学上経済的支援が必要と認められる者 （①～②のすべてを満たす日本国籍を有する者）		500,000円 （1年あたり250,000円）	若干名
博士前期課程	竹村和子奨学基金	本学大学院博士前期課程に在学する者で、成績顕著な者		50,000円	1名
博士前期課程	松本千代榮奨学基金	本学文教育学部芸術・表現行動学科卒業時に優れた卒業論文を提出した者で、本学大学院博士前期課程において舞踊・表現行動学関係の研究に従事し、優れた研究が見込める者		100,000円	1～2名
博士後期課程	大学院生（博士後期課程）奨学基金（予約型奨学金）	本学大学院博士前期課程を修了し、引き続き本学大学院博士後期課程に進学する者（学内進学者）で、学業、人物ともに優れた者		300,000円	10名
博士後期課程	大学院研究科奨学基金	本学大学院博士後期課程において研究に従事し、その成績顕著な者		100,000円	1～2名
博士後期課程	菅聡子奨学基金	本学大学院博士後期課程において日本語日本文学関係の研究に従事し、その成績顕著な者		250,000円	1～2名
コース・専攻等、共通	創立120周年記念事業国際交流振興基金・桜蔭会国際交流奨励賞	海外留学支援事業	本学大学院博士後期課程修了者又は在学生で、成績優秀かつ将来が嘱望される者のうち海外研修を希望する者	1,500,000円を限度	1～2名
コース・専攻等、共通	創立120周年記念事業国際交流振興基金・桜蔭会国際交流奨励賞	アジア女性研究者支援事業	本学学生として留学後、アジアの各地域において研究者又は各界の指導者として活躍し来日研修を希望する者	1,500,000円を限度	若干名
コース・専攻等、共通	海外留学特別奨学金	①大学間交流協定に基づく交換留学派遣学生等として留学（1年を限度）し、留学先の大学に留学期間中の授業料を納付する者 ②留学期間中、本学の授業料免除の全額免除を受けていない者 （①～②のすべてを満たす者）		本学の授業料の年額又は年額の２分の１に相当する額が上限	若干名
コース・専攻等、共通	髙田弘子奨学基金（予約型奨学金）	本学大学院博士前期課程又は博士後期課程に在学する者で、帰国後も研究を継続する意思を持って海外研究留学を行う予定又は行っている者		500,000円	前1名・後1名
コース・専攻等、共通	富永ふみ教育基金	本学正規課程の私費外国人留学生で発展途上国の国籍を有し、成績、人物ともに優秀であり、経済的支援を必要とする者		300,000円	1名
コース・専攻等、共通	池田摩耶子記念奨学基金	1．本学大学院において国際的な研究に従事し、成績顕著な者 2．学部、大学院に私費で在学する外国人留学生で成績顕著な者		200,000円	若干名
コース・専攻等、共通	池田重記念奨学基金	1．本学大学院において国際的な研究に従事し、成績顕著な者 2．学部、大学院に私費で在学する外国人留学生で成績顕著な者		200,000円	若干名
コース・専攻等、共通	竹村和子海外研修奨学基金	本学大学院に在学する者で、成績顕著な者		1年目2,000,000円 2年目1,000,000円	1名
コース・専攻等、共通	自然地理学奨学基金	本学文教育学部人文科学科地理学コース及び大学院に在学する者で、自然地理学関係の研究に従事し、優れた研究が見込める者		国内調査20,000円 又は海外調査40,000円	3名
コース・専攻等、共通	湯浅年子記念特別研究員奨学基金	本学出身者、在学する者又は附属高等学校出身者で、自然科学関係の研究に従事し、その成績顕著な者		博士前期課程 月額860ユーロ 博士後期課程(一般給費) 月額1,588ユーロ 博士後期課程(研究実習給費) 月額1,704ユーロ	1名
コース・専攻等、共通	保井・黒田奨学基金	自然科学関係の研究に従事し、その成績顕著な者		30,000円	5名

	基金の名称	授与対象者		奨学金の額	授与枠
コース・専攻等、共通	数学奨学基金	本学出身者又は本学大学院博士前期課程及び学部に在学する者で、数学の成績顕著な者		100,000円	1名
コース・専攻等、共通	矢部吉禎・矢部愛子奨学基金	本学学部または大学院に在学する者で、植物学または数学を学ぶ者のうち、学業成績や研究能力が優秀な者		500,000円	植物3名・数学3名
コース・専攻等、共通	化学科（宮島直美）奨学基金	本学理学部化学科及び大学院に在学する者で、化学の成績等顕著な者		100,000円	前2名・後1名
コース・専攻等、共通	食物学奨学基金	食物学関係の研究に従事し、その成績顕著な者		100,000円	若干名
コース・専攻等、共通	家庭経営学奨学基金	家庭経営学関係の研究に従事し、その成績顕著な者		100,000円	1～2名
コース・専攻等、共通	被服学奨学基金	被服学関係の研究に従事し、その成績顕著な者		100,000円	制限なし
コース・専攻等、共通	宮島直美国際交流基金	理系大学院生派遣事業	バーギシェ・ブッパタール大学での研修留学へ応募し選考された者	旅費等 400,000円	5名
コース・専攻等、共通	宮島直美国際交流基金	理系大学院生派遣事業	バーギシェ・ブッパタール大学での研修留学へ応募し選考された者	補助費 50,000円	5名
コース・専攻等、共通	宮島直美国際交流基金	日韓３女子大学交流合同シンポジウム	韓国で開催する年の梨花女子大学校での発表会へ応募し選考された者	旅費等 上限100,000円	10名
コース・専攻等、共通	坂井満子育英奨学基金	本学大学院に在学する者で、学業成績が優秀であり、修学上経済的支援が必要と認められる者		原則 500,000円	20名
コース・専攻等、共通	育児支援奨学金	本学の正規学生で本学が設置する保育所を利用する者		原則、保育料の半額	制限なし

小石川寮

本学から徒歩3分の場所に、全室個室の大学院生向けの寮があります。
小石川寮は在寮生同士が自治会を組織して運営しています。例年２月に学生からの申請に基づき、入寮許可を決定します。

収容定員	定員　77 名
入寮資格	実家から大学まで１時間 30 分以上離れていること（新幹線、飛行機は使用しない）なお、実家の家計から独立した生計を営んでいる者は資格あり
入寮判定	収入証明書及び住民票などの提出書類を元に総合的に家計を判断し入居の可否を判定する
寄宿料	月額 4,300 円（他に光熱水料及び自治会費等、フロア毎に共益費等の負担あり）
居室設備	個室（9.45㎡）：机、椅子、ベッド、クローゼット（小）、吊り棚・エアコン　＊トイレ、洗面所、お風呂共同　ネット接続は指定業者と別途契約
共有施設	談話室（1F）、公衆電話（1F）、洗濯機（各階２台）、乾燥機（各階１台） 風呂（各階　シャワー室　浴室１室ずつ）、補食室（各階　湯沸器、冷蔵庫、テーブルセット完備）
自治会	自治会役員（寮長、副寮長、検針、会計、書記、防火防犯、入退寮、自転車）を各寮生が分担している ・任期は半期〔前期：6月～12月（前期寮生大会まで）、後期：12月～6月（後期寮生大会まで）〕

お茶の水女子大学大学院　入学料・授業料

□ 入学料 282,000円（予定額）
□ 授業料 半期分 267,900円（年額 535,800円）（予定額）
入学時及び在学中に授業料の改訂が行われた場合は、改訂時から新授業料が適用されます。
（注）ライフサイエンス専攻遺伝カウンセリングコースについては、認定遺伝カウンセラー資格取得に当たって、遺伝カウンセリング実習研修費が別途、必要となります。

国際交流

—お茶の水女子大学から世界につなぐ教育と研究—

◎お茶大から世界へ
https://www.ocha.ac.jp/intl/studyab/index.html

海外での研究活動や協定大学への留学を支援

派遣プログラム及び助成制度

派遣プログラム

- ■ 大学間交流協定に基づく交換留学
- ■ 海外語学研修（マンチェスター大学、カリフォルニア大学デービス校、開南大学、マギル大学、ハル大学、カモーソンカレッジ、啓明大学校 他）
- ■ 協定校主催短期研修（梨花女子大学校、ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院、キャンパスフランス、チェンマイ大学 他）
- ■ 理系学生対象短期研修（カリフォルニア大学デービス校 他）
- ■ 海外における日本語教育実習プログラム
- ■ バーギシェ・ブッパタール大学研修留学大学院生派遣事業
- ■ グローバル協力センターによる国際調査
- ■ ジェンダー研究領域の交換派遣プログラム（アジア工科大学院大学、ノルウェー科学技術大学）

助成制度

- ■「湯浅年子記念特別研究員奨学基金」による海外派遣
- ■「お茶の水女子大学120周年記念桜蔭会国際交流奨励賞」による海外派遣

※上記の内容は変更の可能性があります。
※上記以外に、交換留学、短期留学等の留学形態や期間別の大学独自の給付型奨学金があります（P15参照）。また、文部科学省、日本学生支援機構、地方自治体及び民間財団等による給付型奨学金もあります。

大学間交流協定締結大学97校 （2025年1月1日現在）

アジア

- ● インドネシア国立芸術大学デンパサール校（インドネシア）
- ● インドネシア国立芸術大学ジョグジャカルタ校（インドネシア）
- ● 国立インドネシア大学（インドネシア）
- ● 韓国芸術総合学校舞踊院（大韓民国）
- ● 基礎科学研究院（大韓民国）
- ● 慶北大学校（大韓民国）
- ● 啓明大学校（大韓民国）
- ● 建国大学校（大韓民国）
- ● 高麗大学校（大韓民国）
- ● 淑明女子大学校（大韓民国）
- ● 同徳女子大学校（大韓民国）
- ● 釜山大学校（大韓民国）
- ● 釜山外国語大学校（大韓民国）
- ● 梨花女子大学校（大韓民国）
- ● アジア工科大学院大学（タイ）
- ● タマサート大学（タイ）
- ● チェンマイ大学（タイ）
- ● プリンス・オブ・ソンクラー大学（タイ）
- ● 開南大学（台湾）
- ● 国立政治大学（台湾）
- ● 国立台北芸術大学（台湾）
- ● 国立台湾大学（台湾）
- ● 台北医学大学（台湾）
- ● 東海大学（台湾）
- ● 東呉大学（台湾）
- ● 大連外国語学院（中国）
- ● 大連理工大学（中国）
- ● 復旦大学歴史学系（中国）
- ● 北京外国語大学（中国）
- ● 北京大学歴史学系（中国）
- ● 国立ハノイ教育大学（ベトナム）
- ● ハノイ大学（ベトナム）
- ● ベトナム科学技術アカデミー・ゲノム機関（ベトナム）
- ● ベトナム女性学院（ベトナム）
- ● インド工科大学ハイデラバード校（インド）

中東

- ● アルザフラー大学（イラン・イスラム共和国）
- ● アンカラ大学（トルコ）

オセアニア

- ● シドニー工科大学（オーストラリア）
- ● ニューサウスウェルズ大学（オーストラリア）
- ● オタゴ大学（ニュージーランド）

アフリカ

- ● カイロ大学（エジプト）
- ● マンソウラ大学（エジプト）

北米

- ● ヴァッサー大学（アメリカ）
- ● オルブライト大学（アメリカ）
- ● カリフォルニア大学サンディエゴ校（アメリカ）
- ● カリフォルニア大学デービス校（アメリカ）
- ● カリフォルニア大学リバーサイド校（アメリカ）
- ● セントメアリーズ大学（アメリカ）
- ● チャタム大学（アメリカ）
- ● ノースイースタンイリノイ大学（アメリカ）
- ● ノースイースタン大学（アメリカ）
- ● 南オレゴン大学（アメリカ）
- ● カモーソンカレッジ（カナダ）
- ● ウェスタンオンタリオ大学（カナダ）
- ● マギル大学（カナダ）

南米

- ● サンパウロ大学（ブラジル）

ヨーロッパ

- ● イースト・アングリア大学（イギリス）
- ● オックスフォード大学クイーンズコレッジ（イギリス）
- ● オックスフォード大学リナカ・カレッジ（イギリス）※1
- ● セントラル・ランカシャー大学（イギリス）
- ● ハル大学（イギリス）
- ● プリマス大学（イギリス）
- ● マンチェスター大学（イギリス）
- ● ロンドン大学キングスカレッジ（イギリス）
- ● ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院（イギリス）
- ● ロンドン大学バークベックカレッジ（イギリス）
- ● 国立ナポリ大学オリエンターレ（イタリア）
- ● コッレージョ・ヌォーヴォ（イタリア）
- ● ‘サピエンツァ’ローマ大学（イタリア）
- ● ウィーン工科大学（オーストリア）
- ● ダーラナ大学（スウェーデン）
- ● バリャドリッド大学（スペイン）
- ● ブルゴス大学（スペイン）
- ● スロバキア工科大学（スロバキア）
- ● リュブリャナ大学（スロベニア）
- ● カレル大学（チェコ）
- ● プラハ芸術アカデミー（チェコ）
- ● コペンハーゲン大学（デンマーク）
- ● ケルン大学（ドイツ）
- ● バーギシェ・ブッパタール大学（ドイツ）
- ● ブレーメン応用科学大学（ドイツ）
- ● ノルウェー科学技術大学（ノルウェー）
- ● エトヴェシュ・ロラーンド大学（ハンガリー）
- ● セントリア先端科学大学（フィンランド）
- ● タンペレ大学（フィンランド）
- ● クレルモン・オーベルニュ大学（フランス）
- ● ストラスブール大学（フランス）
- ● パリ・シテ大学（フランス）
- ● パリ市立工業物理化学高等専門大学（フランス）
- ● フランシュ＝コンテ大学（フランス）
- ● ボルドー大学（フランス）
- ● EPITECH工学院（フランス）
- ● ワルシャワ大学（ポーランド）
- ● バニャルカ大学（ボスニア・ヘルツェゴビナ）
- ● ヴィータウタス・マグヌス大学（リトアニア）
- ● ブカレスト大学（ルーマニア）
- ● トムスク国立教育大学（ロシア）

※1 学生派遣の協定はありません。

研究支援

育児支援 …女性のキャリアとライフコースの両立

お茶の水女子大学では、2005年4月1日から、国立大学法人では初めての附属学校部の所属となる学内保育所「いずみナーサリー」を設置しました。保育室には、無垢の木材で作られた温もりのある家具や大型遊具を設え、冬場でも乳幼児が素足で過ごせるよう、床暖房を入れています。また、四季折々に自然豊かな学内へのお散歩や、隣接している附属幼稚園の園庭での外遊びなど、都心にありながら、からだを思いきり動かして遊ぶ屋外環境もあります。女性研究者支援の場であることはもちろん、質の高い保育を行う乳幼児保育施設であり、同時に保育研究を行う場でもあります。なお、本学の正規学生は、いずみナーサリー保育料の半額相当の補助を受けられる「育児支援奨学金」制度を利用することができます。

◎いずみナーサリーの概要

定　員	1日26名
入所対象児	＜年齢＞生後6か月～4月1日現在で満3歳未満
	＜保護者＞大学関係者（学生・教職員・その他）
保育時間	月～金 8:30～17:30
利用形態	月ぎめ保育（就労・研究のニーズに合わせた利用日数選択型）
	時間預かり保育
保育料	利用日数・方法に合わせた料金設定 （本学の学部生・大学院生は保育料の半額相当を育児支援奨学金として受けられます）

◎いずみナーサリー
https://www.fz.ocha.ac.jp/izumi/

図書館

図書館は、快適な学習空間と充実したサービスによって、多様な研究スタイルを支援します。

研究スペース

図書館2階奥に「大学院生用研究スペース」、1階にはプレゼンテーションルームなどのセミナーや研究発表のためのスペースを用意しました。また、論文作成に有用なデータベースなどを快適に利用できる環境を整えています。

複写物・図書取り寄せ費用を大学負担に

これは、本学が他大学に先駆けて実施した学生への研究支援の一例です。本学に所蔵のない資料の現物や複写物を取り寄せる際の料金を大学が負担します。図書の返送料については従来自己負担でしたが、年間1人3冊まで往復の送料を大学が負担しています。

◎附属図書館
https://www.lib.ocha.ac.jp/

人間文化創成科学研究科・全学共用研究棟

全学共用研究棟には2階にブース式の研究スペースがあり、研究に集中する環境が整備されています。また、1階入り口正面にあるラウンジは、研究の合間に友人とおしゃべりしたり、グループディスカッションを行ったりと広く利用されています。

トランスジェンダー学生受入れについて

本学の「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」というミッションから、自身の性自認にもとづき、女子大学で学ぶことを希望する人を2020年度の入学者から受け入れています。戸籍（又はパスポート）の性別と性自認が異なっている方については、入学後の学生生活をサポートするために、通称名や更衣室の使用などについて、あらかじめ情報を提供したいと考えていますので、事前にご相談ください。事前申出の詳細は、各学生募集要項をご覧ください。

https://www.ao.ocha.ac.jp/information/graduate/d014530.html

その他の研究支援

■ 研究機能強化のための戦略的研究組織

○グローバル女性リーダー育成研究機構

・グローバルリーダーシップ研究所
・ジェンダー研究所
・ジェンダード・イノベーション研究所

○ヒューマンライフイノベーション開発研究機構

・ヒューマンライフサイエンス研究所
・人間発達教育科学研究所

○総合知開発研究機構

・コンピテンシー育成開発研究所
・理系女性育成啓発研究所
・サイエンス＆エデュケーション研究所

○サスティナブル社会実装機構

・SDGs推進研究所
・湾岸生物教育研究所

◎研究所・センターについて
https://www.ocha.ac.jp/attached/index.html

■ 中長期研究インターンシップ

企業の研究現場における長期間にわたるインターンシップです。実際の業務に取り組む経験を通じて、国際競争に耐え得る研究力に裏打ちされた実践力を養成することを目的としています。詳細については、入学後にご案内します。是非、参加をご検討ください。

○ジョブ型研究インターンシップ【対象:博士後期課程学生】

産業界と大学が協力して実施している長期、有給、ジョブ型のインターンシップ制度です。文部科学省のガイドラインに基づき正課の科目として単位認定されます。本学では授業「プロフェッショナル・インターンシップ」の一環として実施されています。

○産学協働イノベーション人材育成協議会（C-ENGINE）研究インターンシップ【対象:博士前期・後期課程学生】

C-ENGINEに参画する企業で行う、実践的な中長期研究インターンシップです。普段研究室では得ることができない様々な経験を通し、学生が１人の研究者として身に付けるべき汎用的スキルの習得・向上を支援しています。

■ 大学院で働きながら学ぶ制度

○ティーチング・アシスタント制度

大学院生を学部又は博士前期課程の講義、実験、実習、演習などのアシスタントとして雇用する制度です。

○リサーチ・アシスタント制度

博士後期課程に在籍する学生を、指導教員の研究アシスタントとして雇用する制度です。

■ 本学独自の研究員制度

○リサーチフェロー制度

本学での学位取得者（課程博士）を対象に、公募により採用します。自主的自律的に研究する機会を与え、多様なキャリア・パスの確保を図る、ポスドク・プログラム制度です。

○研究院研究員制度

本学で学位（博士）を取得した研究者で常勤の職を有しない方等を対象に、公募により受入れます。研究者の育成を行い、併せて本学基幹研究院の研究面での活性化と情報発信の活性化を促すことを目的とした制度です。

○特別研究員（みがかずば研究員）制度

優れた女性研究者の継続的な研究活動を支援するとともに、女性研究者が研究中断後に円滑に研究現場に復帰する機会を提供します。

就職支援の取組

本学のキャリア支援は、大学院で身に付けた力を発揮し、学生一人ひとりが希望する進路を実現できることを目指しています。キャリア選択や就職活動に役立つ各種講座、企業との交流会、公務員や教員を目指す学生には筆記試験や面接試験に向けた講座などを開催し、それぞれの進路実現を総合的にサポートしています。キャリアコンサルタントが個別に相談に応じるキャリア相談も実施しており、多くの学生が利用しています。また、研究プレゼンテーションやデザイン講座などアカデミア・企業いずれでも活用できるスキルの向上を目的とした講座も実施しています。そして、女性博士OGの講演会は、多様なキャリア選択、研究と生活の両立について実体験が聞けると好評です。この講演会は、OGとのネットワーキングや博士前期・後期課程の在学生同士の交流の場にもなっています。さらに、本学は「博士人材育成コンソーシアム」に加盟しており、加盟大学が提供する100を超えるキャリア教育支援プログラムや企業とのマッチングイベントに無料で参加することができます。このように、大学院の研究の中で獲得した専門性とスキルを幅広い分野で発揮し、活躍できるよう学生のみなさんをサポートします。

■ ワークインプログレス ～女性博士人材と企業等との交流イベント～

博士後期課程およびポスドクを対象としたキャリア形成・就職支援の一環として、博士人材と企業関係者が自由に情報交換を行い、積極的にお互いを知り合える場を提供しています。企業などの研究開発や事業構造、業務の実態について話を聞くことで研究者に求められていることを理解し、将来のキャリアビジョンを考え、アカデミアだけでなく企業での活躍の場を広げるきっかけづくりとなるような充実した支援を提供しています。

主な就職先

◎就職先
https://www.dc.ocha.ac.jp/about/accession.html

比較社会文化学専攻

■日本語日本文学コース
文部科学省、厚生労働省、東京都庁、青森県庁、高知県教育委員会、東京都公立大学法人、恵泉女学園中学校・高等学校、静岡県立高等学校、群馬県立高等学校、日本芸術文化振興会、防府市文化振興財団、KDDI総合研究所、乃村工藝社、NHK出版　等

■アジア言語文化学コース
東京都庁、セメント協会、東京貿易ホールディングス、ユニアデックス　等

■英語圏・仏語圏言語文化学コース
厚生労働省、国立国会図書館、東京国税局、東京大学職員、福井市役所、静岡県高等学校、学習院女子中・高等科、大妻中学高等学校、講談社、日本電気（NEC）、三井造船システム技研　等

■日本語教育コース
お茶の水女子大学、東京都立大学、東京大学、岡山大学、獨協大学、早稲田大学、中南大学、釜山外国語大学、タマサート大学、国際交流基金、東京ウエストインターナショナルスクール、専門教育出版　等

■思想文化学コース
静岡大学、文部科学省、神奈川県庁、日本マクドナルド　等

■歴史文化学コース
群馬県、富山県、埼玉県、新聞協会、警視庁、船橋市、下野新聞、お茶の水女子大学、東京都立大学、女子学院、TBS、愛媛県美術館　等

■生活文化学コース
東京都、防災科学技術研究所、学校法人京華学園、東京大学、東京都庭園美術館　等

■舞踊・表現行動学コース
企業一般職及び総合職、中高校教員、短大等の講師、舞踊教師・上演者　等

■音楽表現学コース
音楽科専任教員、神戸市、日本伝統文化財団、放送局　等

人間発達科学専攻

■教育科学コース/領域
【博士前期課程】公務員（文部科学省、東京都庁、衆議院事務局）、国立大学事務職員、公立小学校教諭、私立中・高等学校教諭、アビームコンサルティング、PwCコンサルティング合同会社　等　**【博士後期課程】**大学常勤職（金沢大学、東京学芸大学、専修大学、東京家政大学、聖徳大学、福山公立大学）　等

■心理学コース/領域
【博士前期課程】一般民間企業（集英社、バンダイナムコスタジオ、日経リサーチ）、公務員（文部科学省、家庭裁判所調査官補、東京都心理職）　等
【博士後期課程】大学常勤職（順天堂大学、豊橋技術科学大学、東海大学、山梨大学）、一般民間企業（資生堂、NHKエデュケーショナル、横浜銀行）、公務員（法務省）　等

■発達臨床心理学コース/領域
【博士前期課程】公務員（家庭裁判所調査官補、法務省心理技官、都道府県の心理職）、公立・私立病院等の心理職、公立・私立のスクールカウンセラー、教育相談所　等　**【博士後期課程】**大学常勤職（佐賀大学、山梨大学、茨城大学、京都文教大学、東京福祉大学）、公務員（警視庁心理職、法務省心理技官）　等

■応用社会学コース/社会学・社会政策領域
【博士前期課程】法務省、外務省、東京都庁、労働金庫、スルガ銀行、講談社、日本赤十字　等　**【博士後期課程】**関西大学、東洋大学、東京理科大学、日本大学、龍谷大学、福岡県立大学、川口短期大学、奈良女子大学　等

■保育・児童学コース/領域
【博士前期課程】短大教員、一般企業、保育所保育士、幼小中高の教員　等　**【博士後期課程】**大学教員、短大教員、幼小中高の教員、従来の専門職に戻る　等

ジェンダー社会科学専攻／ジェンダー学際研究専攻

◆博士前期課程→就職（家庭裁判所調査官、内閣府、総務省、国立国会図書館、長野県庁、横浜市、短大専任講師、高校教員、海外協力隊、リクルートマネージメントソリューションズ、ソニー、日本経済新聞社、時事通信社、富士通総研、日本総研、大和総研、リンクアンドモチベーション、楽天グループ、アンダーソン毛利友常法律事務所　等）

◆博士前期課程→本学後期課程進学→就職大学教員等（茨城大学、岩手大学、立教大学、横浜国立大学、実践女子大学、福岡女子大学、天理大学、神戸学院大学、松本大学、帝京平成大学、ノッティンガム大学、明海大学、立命館大学、同志社女子大学、ロシア高等経済学院の教員、国立社会保障・人口問題研究所研究員　等）

◆博士前期課程→他大学後期課程進学（東京大学、一橋大学、ロンドン大学、エディンバラ大学　等）

◆他大学博士前期課程→本学博士後期課程→就職大学教員等（東京外国語大学、日本大学、アモイ大学、フランクフルト大学、メキシコ国立自治大学、奈良教育大学、法政大学、国際ファッション専門職大学の教員、国立女性教育会館専門員、平成帝京大学、長野大学、日本労働研究・研修機構　等）

ライフサイエンス専攻

■生命科学コース/領域
【博士前期課程】産業技術総合研究所、田辺三菱製薬、サーモフィッシャーサイエンティフィック、ADVANTECグループ、日立ハイテク、東京ガス、森永製菓、カンロ、サンエイ糖化、インテージテクノスフィア、ミルボン、NTTドコモ、NTTデータ、大和総研、キリンホールディングス、日鉄ソリューションズ、みずほリサーチ＆テクノロジーズ、厚生労働省、横浜雙葉中高　等　**【博士後期課程】**理化学研究所、産業技術総合研究所、リコー、コーセー、羊土社、弁理士特許事務所、田園調布雙葉中高　等

■食品栄養科学コース/領域
【博士前期課程】ネスレ日本、アサヒグループ食品、講談社、キリンホールディングス、東京都立病院機構、農林水産省、Mizkan Holdings、エスビー食品、日本グローバルライフソリューションズ、アクセンチュア、野村総合研究所、日清製粉、マルハニチロ、富士システムズ　等　**【博士後期課程】**長野県立大学（助手）、キリンホールディングス、農林水産省、農業・食品産業技術開発総合研究機構　等

■遺伝カウンセリングコース/領域
【博士前期課程】神奈川県立こども医療センター、済生会宇都宮病院、亀田総合病院、株式会社ファルコバイオシステムズ、埼玉県立小児医療センター、埼玉医科大学、国立がん研究センター、日本医科大学、国立病院機構東京病院、東京医科大学、静岡県立総合病院、がん研有明病院、東京都立墨東病院　等

理学専攻

■数学コース/領域
【博士前期課程】野村総合研究所、住友生命保険相互会社、NTT東日本、日鉄ソリューションズ株式会社、NTTドコモ、鉄道総合技術研究所、株式会社東京大学TLO、三井住友信託銀行株式会社、群馬県庁、株式会社三菱UFJ銀行　等

■物理科学コース/領域
【博士前期課程】日本電信電話株式会社、株式会社IHI、日立製作所、日本電気株式会社、三菱電機株式会社、三菱総合研究所、読売新聞社、伊藤忠テクノソリューションズ、アクセンチュア、警察庁、桜蔭学園教諭　等
【博士後期課程】リコー、東芝、国立がん研究センター、みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社、豊田中央研究所、東京都立大学、京都大学、山形大学、茨城大学　等

■化学・生物化学コース/領域
【博士前期課程】コスモエネルギーホールディングス、住友化学、大日本印刷、DIC、東ソー、フジクラ、富士紡ホールディングス、ブリヂストン、三菱ガス化学、リコー、理化学研究所、東京都公立学校教員　等
【博士後期課程】文部科学省、ファインケム、日本電信電話株式会社、テルモ、三菱ケミカル、中央大学、山梨大学　等

■情報科学コース/領域
【博士前期課程】アマゾンウェブサービスジャパン、NTTドコモ、グーグル、KDDI、凸版印刷、日鉄ソリューションズ、日本IBM、日本銀行、日本原子力研究開発機構、NEC、NTT、日本ヒューレット・パッカード合同会社、NHK、日本マイクロソフト、野村総合研究所、パナソニック、バンダイ、JR東日本、日立システムズ、富士通、ブリヂストン、ミクシィ、三井化学、三菱総合研究所、三菱電機、三菱UFJ銀行、メルカリ、ヤフー、ライオン、リクルート、リコー　等　**【博士後期課程】**産業技術総合研究所人工知能研究センター、日本原子力研究開発機構、住友電気工業、大日本印刷、東京大学大学院工学研究科、中央大学理工学研究所、東京科学大学情報理工院、東京大学地球観測データ統融合連携研究機構、日産自動車販売、日本IBM、NTT、ヤフー　等

利用者・経験者の声

いずみナーサリー利用者

人間文化創成科学研究科
人間発達科学専攻　心理学領域　博士後期課程２年

亘 千枝

母親になっても学ぶことを諦めずサポートしてもらえる場所があることは女性としての自己実現をも支えてもらえている気持ちになります。自然豊かな構内で季節を感じたり、ボランティアの学生さんと触れ合いながらおいしいお菓子やご飯を食べられたり。安心できる温かな保育環境を研究や就労の状況に合わせて利用できることは、親子双方にとって大きなサポートの一つであると感じています。

みがかずば研究員制度利用者

神田外語大学
外国語学部　国際コミュニケーション学科　講師

林 亜美

職業訓練のジェンダー分析にかんする研究で本学の博士号を取得後、みがかずば研究員に採用して頂きました。1年半の活動後、専任講師として着任し、研究・教育に携わっています。みがかずば研究員在職中は、院生時には接する機会がなかった他専攻出身の研究員の方々と、学位取得後の研究やキャリア形成などのポスドク生活の多様な悩みを共有でき、大変有意義な経験ができました。

社会人入学者

人間文化創成科学研究科
理学専攻　情報科学領域　博士後期課程２年

尾﨑 保乃花

本学の博士前期課程を修了後、企業の研究開発職に就きました。働く中で、人と機械を繋ぐ技術に関する知見をさらに深めるため、企業とアカデミアの両方の視点を得たいと考えるようになり、社会人博士として博士後期課程に進学しました。先生方との議論を通じ、幅広い視点で研究分野や社会課題を捉える機会は、自分にとって貴重な経験となっています。

留学生入学者

人間文化創成科学研究科
比較社会文化学専攻　日本語教育コース　博士前期課程１年

PHANKHIAN CHATPORN

現在、日本語のアスペクト習得について研究を進めています。お茶大を選んだ理由は日本語教育の専門家を育成するコースや、留学生向けの学習支援が充実している点です。先生方は研究者としての歩みをゼロから丁寧に指導してくださり、留学生にとって心強いサポートがあると感じています。学びやすい環境が整っているため、入試に挑戦する価値があると確信しています。

留学経験者の声

長期交換留学

人間文化創成科学研究科
比較社会文化学専攻　舞踊・表現行動学コース　博士前期課程２年

原 亜由子

舞踊表現学コースにて、イギリス発祥のダンス概念を研究しており、それを実践的に学べる大学を選びました。現地では、朝9時から16時まで学び続ける日々を送りました。自分がマイノリティーになる経験、海外生活は、これからの人生をより豊かにするために必要で実り多い時間でした。ぜひ、大学のサポートを活用して、留学に挑戦してみてください！

短期研修

人間文化創成科学研究科
比較社会文化学専攻　音楽表現学コース　博士前期課程２年

中野 日愛里

博士前期課程1年の春休みにイギリスのハル大学での短期研修に参加しました。この研修は主に学部生が参加していましたが、年齢関係なく異文化や多様性に関して多くの学びを得ることができました。６週間の滞在は、私にとって思考の幅を広げる貴重な経験となりました。初めての留学でしたが大学のサポートのおかげで安心して参加できましたので、皆さんもぜひ活用してください。

※学生の学年は2025年３月現在

大学院入試情報

◎入試情報
https://www.ao.ocha.ac.jp/

学生募集要項等の請求について

大学院への進学をお考えの方は、必ず、学生募集要項を取り寄せ、詳細をご確認ください。また、社会情勢等により、試験期日が急きょ変更になる可能性もあります。変更があった場合は、ホームページで通知いたしますので、最新情報を確認してください。

https://www.ao.ocha.ac.jp/application/howto/index.html

◎ 前期課程入試要項　実施専攻・コース及び募集人員

○および●印：各入試を実施するコース

専攻	募集人員（注１）	コース	8月入試（2025年10月入学・2026年4月入学） 一般入試 外国人留学生入試	8月入試 社会人特別入試	9月入試（2026年4月入学） 一般入試 外国人留学生入試	9月入試 社会人特別入試	9月入試 推薦入試	2月入試（2026年4月入学） 一般入試 外国人留学生入試	2月入試 社会人特別入試
比較社会文化学専攻	58名	日本語日本文学コース			—	—	○	○	—
		アジア言語文化学コース			—	—	○	○	—
		英語圏・仏語圏言語文化学コース（英語圏言語文化専修）			—	—	○	○	—
		英語圏・仏語圏言語文化学コース（仏語圏言語文化専修）			—	—	○	○	—
		日本語教育コース			—	—	—	○	○
		思想文化学コース			—	—	—	○	—
		歴史文化学コース			—	—	○	○	—
		生活文化学コース			—	—	○	○	—
		舞踊・表現行動学コース			—	—	—	○	—
		音楽表現学コース			—	—	—	○	—
人間発達科学専攻	27名	教育科学コース			—	—	—	○	—
		心理学コース			○	—	—	○	—
		発達臨床心理学コース			—	—	—	○	—
		応用社会学コース			○	—	—	○	—
		保育・児童学コース			○	○	○	○	○
ジェンダー社会科学専攻	18名				○	○	—	○	○
ライフサイエンス専攻	39名	生命科学コース	●（注2）	—				○	—
		食品栄養科学コース	●（注2）	—				○	—
		遺伝カウンセリングコース	○	—				△（注3）	—
理学専攻	70名	数学コース	●（注2）	●（注2）				○	○
		物理科学コース	●（注2）	—				○	—
		化学・生物化学コース	●（注2）	—				○	—
		情報科学コース	●（注2）	●（注2）				○	○

（注１）募集人員は、８月・９月・２月実施の全コース及び全入試区分を含めた人数である。
（注２）一覧で●のついたコース・入試区分についてのみ、10月入学を希望できる。
ただし、10月入学の場合は、2025年度の専攻・コースに所属し、2025年度の授業科目を履修することになること、また、2025年度の専攻・コースの担当教員から志望教員を選ぶことになるので、注意すること。
（注３）「遺伝カウンセリングコース」の2月入試は、8月入試で定員が充足された場合、実施しない。2月入試の実施の有無は、11月28日（金）までに本学南門掲示板及び入試情報Webページ（https://www.ao.ocha.ac.jp/）上で通知する。

◎ 後期課程入試要項　実施専攻・領域及び募集人員

○印：各入試を実施する専攻

専攻	領域	募集人員（注１）	９月入試	３月入試
比較社会文化学専攻	国際日本学領域、言語文化論領域、比較社会論領域、表象芸術論領域	27名	—	○
人間発達科学専攻	教育科学領域、心理学領域、発達臨床心理学領域、社会学・社会政策領域、保育・児童学領域	14名	—	○
ジェンダー学際研究専攻	ジェンダー論領域	４名	—	○
ライフサイエンス専攻	生命科学領域、食品栄養科学領域、遺伝カウンセリング領域	13名	○	○
理学専攻	数学領域、物理科学領域、化学・生物化学領域、情報科学領域	13名	○	○

（注）募集人員には、一般入試以外の進学者選考の募集人員を含む。

◎ 生活工学共同専攻入試要項　実施課程（2025年10月入学（注1）・2026年４月入学）及び募集人員

専攻	募集人員	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
生活工学共同専攻（前期課程）	募集しません			
生活工学共同専攻（後期課程）	２名（注2）	○	○	○

（注１）10月入学を希望できるのは、夏季実施入試のみである。
（注２）募集人員は、一般選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜を合わせてお茶の水女子大学、奈良女子大学、各大学2名（後期課程）とする。秋季（10月）入学の募集人員は、その中の若干名とする。
生活工学共同専攻博士前期課程の募集停止に伴い、2026（令和8）年4月に共創工学専攻（仮称）の設置を構想中です。
入学者選抜方法の詳細は確定次第公表しますが、出願の際には共創工学専攻（仮称）の学生募集要項を必ずご確認ください。